モジュール事前プロビジョニングの設定

この章の内容は、次のとおりです。

- モジュールの事前プロビジョニングに関する情報，1 ページ
- 注意事項と制約事項，1 ページ
- モジュールの事前プロビジョニングのイネーブル化，2 ページ
- モジュールの事前プロビジョニングの削除，3 ページ
- 事前プロビジョニングした設定の確認，4 ページ
- 事前プロビジョニングの設定例，4 ページ

モジュールの事前プロビジョニングに関する情報

事前プロビジョニング機能では、モジュールを挿入または取り付ける前にインターフェイスを事前に設定できます。また、モジュールがオフラインになった場合に、事前プロビジョニングを使用して、オフライン モジュールのインターフェイス設定を変更できます。事前プロビジョニングされたモジュールがオンラインになると、事前プロビジョニング設定が適用されます。いずれの設定も適用されない場合は、syslog が生成されます。syslog には、拒否された設定が示されます。

一部の仮想ポート チャネル（vPC）トポロジでは、同期機能の設定に事前プロビジョニングが必要です。事前プロビジョニングによって、1 つのピアでオンラインになっているが、他のピアでオフラインになっているインターフェイスの設定を同期させることができます。

（注） サポートされるハードウェアのリストについては、『Cisco Nexus 5600 Series Release Notes』の表 2「Hardware Supported by Cisco NX-OS Release 7.x Software」を参照してください。

注意事項と制約事項

事前プロビジョニング設定時の注意事項と制限事項は次のとおりです。

- モジュールがオンラインになると、適用されないコマンドが syslog に表示されます。
- スロットがモジュール A 用に事前プロビジョニングされていて、スロットにモジュール B を挿入する場合は、モジュール B はオンラインになりません。
- 事前プロビジョニングされたインターフェイスに対する MIB サポートはありません。
- Cisco DCNM はサポートされません。

モジュールの事前プロビジョニングのイネーブル化

オフラインのモジュールの事前プロビジョニングをイネーブルにできます。**provision model** *model* コマンドをモジュール事前プロビジョニング モードで入力します。

（注） 事前プロビジョニングをイネーブルにした後、オンラインであるかのようにインターフェイスを設定できます。

手順

	コマンドまたはアクション	目的

ステップ 1	**configuration terminal**
	
	例：
	`switch# config t`
	`switch(config)#`
		グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。

ステップ 2	**slot** *slot*
	
	例：
	`switch(config)# slot 101`
	`switch(config-slot)#`
		事前プロビジョニングするスロットを選択し、スロット コンフィギュレーション モードを開始します。

ステップ 3	**provision model** *model*
	
	例：
	`switch(config-slot)# provision model N2K-C2248T`
	`switch(config-slot)#`
		事前プロビジョニングするモジュールを選択します。

ステップ 4	**exit**
	
	例：
	`switch(config-slot)# exit`
	`switch#`
		スロット コンフィギュレーション モードを終了します。

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 5	**copy running-config startup-config** 例： `switch# copy running-config startup-config`	（任意） 実行コンフィギュレーションを、スタートアップ コンフィギュレーションにコピーします。

次に、スロット 101 および N2K-C2232P モジュールを選択して事前プロビジョニングする例を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# slot 101
switch(config-slot)# provision model N2K-C2232P
switch(config-slot)# exit
```

モジュールの事前プロビジョニングの削除

事前プロビジョニングされたモジュールを削除できます。

手順

	コマンドまたはアクション	目的

ステップ 1	**configuration terminal**
	
	例：
	`switch# config t`
	`switch(config)#`
		グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。

ステップ 2	**slot** *slot*
	
	例：
	`switch(config)# slot 101`
	`switch(config-slot)#`
		事前プロビジョニングするスロットを選択し、スロット コンフィギュレーション モードを開始します。

ステップ 3	**no provision model** *model*
	
	例：
	`switch(config-slot)# no provision model N2K-C2248T`
	`switch(config-slot)#`
		モジュールから事前プロビジョニングを削除します。

ステップ 4	**exit**
	
	例：
	`switch(config-slot)# exit`
	`switch#`
		スロット コンフィギュレーション モードを終了します。

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 5	**copy running-config startup-config** 例： `switch# copy running-config startup-config`	（任意） 実行コンフィギュレーションを、スタートアップ コンフィギュレーションにコピーします。

次に、シャーシ スロットから事前プロビジョニングしたモジュールを削除する例を示します。

```
switch(config)# slot 2
switch(config-slot)# no provision model N5K-M1404
switch(config-slot)#
```

事前プロビジョニングした設定の確認

事前プロビジョニングした設定を表示するには、次のいずれかの作業を行います。

コマンド	目的
show module	モジュール情報を表示します。
show switch-profile	スイッチ プロファイル情報を表示します。
show running-config exclude-provision	オフラインである事前プロビジョニングされたインターフェイスまたはモジュールがない実行コンフィギュレーションを表示します。
show provision failed-config	インターフェイスまたはモジュールがオンラインになったときに設定に適用されなかった、事前プロビジョニングされたコマンドを表示します。 このコマンドは、失敗したコマンドの履歴も表示します。
show running-config	事前プロビジョニングされた設定を含む、実行コンフィギュレーションを表示します。
show startup-config	事前プロビジョニングされた設定を含む、スタートアップ コンフィギュレーションを表示します。

事前プロビジョニングの設定例

次に、Cisco Nexus 2232P ファブリック エクステンダのスロット 110 で事前プロビジョニングをイネーブルにし、イーサネット 110/1/1 インターフェイスでインターフェイス コンフィギュレーション コマンドを事前プロビジョニングする例を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# slot 110
```

```
switch(config-slot)# provision model N2K-C2232P
switch(config-slot)# exit

switch# configure terminal
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
switch(config)# interface Ethernet110/1/1
switch(config-if)# description module is preprovisioned
switch(config-if)# show running-config interface Ethernet110/1/1
Time: Wed Aug 25 21:29:44 2010

version 5.0(2)N1(1)

interface Ethernet110/1/1
  description module is preprovisioned
```

次に、モジュールがオンラインになったときに適用されなかった事前プロビジョニングされたコマンドのリストを表示する例を示します。

```
switch(config-if-range)# show provision failed-config 101
The following config was not applied for slot 33
================================================

interface Ethernet101/1/1
  service-policy input test


interface Ethernet101/1/2
  service-policy input test


interface Ethernet101/1/3
  service-policy input test
```

次に、スロットから事前プロビジョニングされたすべてのモジュールを削除する例を示します。

```
switch(config)# slot 2
switch(config-slot)# no provision model
switch(config-slot)#
```